



2024年4月11日

各位

会社名 株式会社 A B E J A  
代表者名 代表取締役 CEO 岡田 陽介  
(コード番号: 5574 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 CFO 英 一 樹  
(TEL. 03-6387-9222)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年10月12日に公表しました2024年8月期（2023年9月1日～2024年8月31日）の業績予想を下記の通り修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（2023年9月1日～2024年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,470	450	447	388	44.33
今回修正予想 (B)	3,067	380	379	319	35.53
増減額 (B-A)	△403	△70	△68	△69	—
増減率 (%)	△11.6	△15.6	△15.2	△17.8	—
(参考) 前期実績 (2023年8月期)	2,775	402	379	421	53.41

#### 2. 修正の理由

##### (1) 売上高

当第2四半期累計期間の売上高は1,424百万円、前年同期比1.2%増となりました。内訳として、当第1四半期会計期間は前年同期比4.3%減であったものの、当第2四半期会計期間は前年同期比6.4%増となり、四半期単位の売上高として過去最高となりました。

また、当第2四半期累計期間の取組状況としましては、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) が公募した「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業/ポスト5G情報通信システムの開発」に当社提案が採択され、日本語LLM及び周辺技術の研究開発を進めています。足元では、LLMを含む生成AI関連の案件が増え、売上高に占める割合も徐々に増加しております。

①売上高は有望リードへのリソース配分、需要にあわせた採用計画の更新、育成進捗などにより、当第2四半期会計期間において反転し上向きなもの、立ち上がりの遅れにより、当第2四半期会計期間末までの前回発表予想に対する進捗率は41%であること、②当該状況の中、来期以

降に LLM を含む生成 AI 関連の需要がより強まるとの見込みから、当社として日本語 LLM 及び周辺技術の研究開発、生成 AI 関連のユースケース創出にリソースを投下する判断をしたことより、売上高を 403 百万円減少の 3,067 百万円に修正いたしました。

これにより、通期の売上高成長率の見込みは+25%から+10.5%に修正となり、内訳は上期実績+1.2%、下期は+20.1%を見込んでおります。

## (2) 売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益

上記(1)の売上高の減少に伴い売上総利益の減少を見込んでおります。

販売費及び一般管理費につきましては、採用を継続して進めることから、前回発表予想から大きな変更はございません。このため、営業利益は上記売上総利益の減少を主たる要因として、70 百万円減少の 380 百万円に修正いたします。

営業外損益につきましては、前回発表予想から大きな変更はなく、上記営業利益要因により、経常利益は 68 百万円減少の 379 百万円を見込んでおります。

特別損益につきましては、従来通り見込んでおりません。以上より、当期純利益は 69 百万円減少の 319 百万円を見込んでおります。

※当第 1 四半期会計期間 (2023 年 9 月 1 日～2023 年 11 月 30 日)

当第 2 四半期会計期間 (2023 年 12 月 1 日～2024 年 2 月 29 日)

当第 2 四半期累計期間 (2023 年 9 月 1 日～2024 年 2 月 29 日)

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上